

■ポスターセッション

ポスターセッションは36件の発表があり、8月21日(木) 13:10~14:15のコアタイムを中心として活発な討論が行われた。発表では、東北地方太平洋沖地震をはじめとした地震地すべりに関する地震動特性に基づいた地すべり発生研究機構や盛土すべりに関する研究の成果報告をはじめとして、全国各地で発生した斜面災害に関する研究報告があったほか、地すべり動態観測及び下水の調査・解析に関する研究、樹脂固定標本技術、ロープアクセス技術に関する報告など多岐にわたる分野の発表があった。各ポスターはその構成や図・表に工夫がこされ、視覚的にわかりやすく表現されていた。

若手研究者の発表奨励策の一環として実施している若手ポスター賞は、実行委員長により選任された7名の審査員により審査され、ポスターの出来栄え、発表時の応答、研究のオリジナリティについて5段階で評価が行われた。該当者(35歳以下)17名から、以下の方々の受賞が決定し、天野実行委員長から賞状と副賞が贈呈された。

若手ポスター賞受賞者:

- ・西井稜子(佃土木研究所・正会員)
「斜面変形プロセス研究への宇宙線生成核種年代測定の応用」
共同発表者 松四雄騎(京都大学)松崎浩之(東京大学)
- ・深津貴之(群馬大学・学生会員)
「平成25年台風26号伊豆大島土砂災害の発端となった斜面の表層崩壊の機構解析」
共同発表者 若井明彦・本明将来・横内啓隆・亀山ひろみ(群馬大学)・後藤聡(山梨大学)
- ・北村和輝(群馬大学・学生会員)
「伊豆大島近海地震(1978)により発生した斜面災害の広域的再現」
共同発表者 今泉文寿(静岡大学)・佐藤剛(帝京平成大学)・林一成(奥山ボーリング(株))・若井明彦(群馬大学)

ポスター発表の発表者および発表演題は以下のとおりである。

区分	発表演題名	発表者	所属
P-1	ベトナムにおける地すべり早期警戒モニタリングシステムの考察	浅野 志穂	佃森林総合研究所
P-2	2014年3月22日のアメリカワシントン州のOso地すべりについて	王 純祥	新潟大学災害・復興科学研究所
P-3	岩壁・急峻斜面におけるロープアクセス技術の実用例	保杉 昌昭	㈱きいすとん
P-4	岩壁・急峻斜面における図面の表現手法	澤田 卓郎	㈱きいすとん
P-5	平成20年岩手・宮城内陸地震によるグラウンドアンカーの破損発生状況調査	野田 稔久	日特建設(株)(元土木研究所交流研究員)
P-6	既存地すべり地形との比較による岩手・宮城内陸地震により発生した地すべりの規模と発生部位の特徴	ハス パートル	アジア航測(株)
P-7	伊豆大島近海地震(1978)により発生した斜面災害の広域的再現	北村 和輝	群馬大学
P-8	地震によって火山灰被覆丘陵で発生する崩壊性地すべりの斜面地質調査による発生危険度評価	中野 英樹	佃土木研究所(現(株)エイト日本技術開発)
P-9	火山灰被覆丘陵における地震起因の斜面変動の土塊到達距離	杉本 宏之	佃土木研究所
P-10	地震動による地すべり土塊のせん断挙動	丸山 清輝	佃土木研究所
P-11	地震地すべり発生時の強度不連続面のせん断特性	山本 拓矢	山口大学
P-12	盛土斜面における地震動・間隙水圧応答の特徴	土井 一生	京都大学防災研究所
P-13	常時微動H/Vスペクトルに基づく宅地造成斜面に作用した強震動の事後評価~1995年兵庫県南部地震によって被災した神戸市の造成宅地を例として~	秦 吉弥	大阪大学
P-14	大規模地震による宅地造成斜面の崩壊範囲に関する事後評価とその推定式	駒井 尚子	大阪大学
P-15	Damage and non-damage simulation of a residential fill slope during the past large-scale earthquakes	Katharina NIG-GEMANN	アーヘン工科大学(大阪大学)
P-16	斜面変形プロセス研究への宇宙線生成核種年代測定の応用	西井 稜子	佃土木研究所
P-17	遷急線に着目したレーザプロファイラによる地すべり地形抽出事例	武田 大典	佃土木研究所
P-18	斜め写真による三次元地形モデルを用いた斜面調査手法の検討	高山 陶子	アジア航測(株)
P-19	赤城山南麓の歴史地震痕跡分布とGISに基づく分析	亀山 ひろみ	群馬大学
P-20	2011年いわき地震で発生した地すべりの分布と三次元地震応答解析	佐藤 剛	帝京平成大学
P-21	地すべり危険度評価に用いる地形量としての山体釣鐘形状度の修正	林 一成	奥山ボーリング(株)
P-22	白神山地すべり地の表層土砂の侵食特性	西川 優美	奥山ボーリング(株)
P-23	地すべりの動態観測結果に基づく面積ひずみと変位速度の関連性	森永 高行	佃土木研究所
P-24	新潟県沖見地すべりに関する移動量と間隙水圧の動態観測結果	秋山 一弥	佃土木研究所 雪崩・地すべり研究センター
P-25	部分ストレーナ孔設置を目的とした連続ステップ孔内試験による水理地質調査	石井 靖雄	佃土木研究所
P-26	1m深地温計測に基づく結晶片岩地すべりに関する流動地下水脈の動態	古谷 元	富山県立大学
P-27	水星北半球のクレーター周縁の地すべりの体積-見かけの摩擦角関係	福岡 浩	新潟大学

区分	発表演題名	発表者	所属
P-28	ため池堤体に腹付したベントナイト遮水シートのすべりに対する安定性の検討	伊藤 潤	山口大学
P-29	C14年代測定を用いた地すべりの発生機構考察	坂 啓惟	日本工営(株)
P-30	谷状の移送域を伴う地すべり地形の特徴に関する研究 -新潟県高田平野東縁部の地すべりでの事例	畠田 和弘	日本工営(株)
P-31	平成25年台風26号伊豆大島土砂災害の発端となった斜面の表層崩壊の機構解析	深津 貴之	群馬大学
P-32	60年間に3度の大水害を受けた京都府山城地域の記録	中島 美千代	日本工営(株)
P-33	地すべり移動体及びすべり面の破碎・変形構造に関する指標の検討	樽角 晃	(株)土木研究所 (現応用地質(株))
P-34	すべり面の樹脂固定コア試料作成で重要となる切断方法の選定	千葉 伸一	応用地質(株)
P-35	樹脂固定標本によるすべり面付近の礫配列の観察	小笠原 啓介	(株)土木研究所
P-36	斜面の表層構造観察のための土壌モノリス作成例	篠崎 至	群馬大学

■新技術紹介セッション

新技術紹介セッションでは、ブースを使った企業・団体による新技術の紹介および展示が25件あった。各種グラウンドアンカー工法をはじめとする地すべり対策技術、監視のための計測機器や、通信・伝達技術、解析・ソフト技術などの新技術の紹介があった。

01	株式会社オサシ・テクノス
02	KJS協会・アンカー補修協会
03	岡三リビック株式会社
04	アジア航測株式会社
05	サンスイ・ナビコ株式会社
06	古野電気株式会社
07	SuperMCアンカー研究会
08	小断面トンネル排水工法研究会
09	既設アンカー緊張力モニタリングシステム (Aki-Mos) 研究会
10	有限会社ミヤコ興業
11	NMアンカー協会
12	株式会社測商技研北陸
13	株式会社横山空間情報研究所
14	北陽建設株式会社
15	特殊な地すべり環境下で使用する観測装置の開発研究会
16	株式会社東京電機
17	明治コンサルタント株式会社
18	坂田電機株式会社
19	KTB協会・PCフレーム協会
20	株式会社きいすとん
21	株式会社フォーラムエイト
22	斜面受圧板協会
23	応用地質株式会社
24	フロテックアンカー技術研究会
25	株式会社エスイー